

大会名

第47回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会

試合番号 29

試合日： 平成19年7月17日	第 3 日目	第 1 試合	準決勝	大阪府大阪市	舞洲運動広場 C
開始時間 9時23分	終了時間 11時01分	中断時間	:	試合時間	1時間38分
(球 審) 相坂 績	(一塁塁審) 増田 恭	(二塁塁審) 松田繁治	(三塁塁審) 長瀬義輝	(副 審)	鴻野敏和

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
ウエストコンサルタント (愛媛)	0	0	0	0	0	0	0								0	1	0
日新製鋼 (広島)	0	0	0	0	1	0	x								1	5	0

チーム名	投 手	捕 手
ウエストコンサルタント (愛媛)	●客野卓也	門田空士
日新製鋼 (広島)	○飯田邦彦	逢澤尚通

チーム名	本 塁 打	三 塁 打	二 塁 打
ウエストコンサルタント (愛媛)			
日新製鋼 (広島)			

(戦評) ”日新製鋼エース飯田の好投で連覇に王手”

両エースの好投で始まった試合。試合が動いたのは5回裏、二死二塁のチャンスに二番塚本が中前にタイムリーし先制。虎の子の1点を飯田が丁寧な投球でウエストコンサルタントを被安打1、奪三振11の好投で決勝戦に駒を進めた。

ウエストコンサルタントはエースの好投に打では援護できなかったが、5回の守備ではセンター稲垣が大飛球を好捕し客野を助けた。チーム目標が初戦突破であったのが堂々の3位。

また、無失策が表すように、準決勝らしい好守備が光った試合であった。



公式記録員 江頭裕美子
戦評記載者 杉谷民治

大会名

第47回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会

試合番号 30

試合日： 平成19年7月17日	第 3 日目	第 1 試合	準決勝	大阪府大阪市	舞洲運動広場 D
開始時間 9時26分	終了時間 11時35分	中断時間	:	試合時間 2時間09分	
(球 審) 岡畑 博	(一塁塁審) 留奥陽子	(二塁塁審) 温井久一	(三塁塁審) 際川正則	(副 審) 南野広行	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
岡 住 (大阪)	0	0	1	0	0	2	0	3							6	8	0
豊田自動織機 (愛知)	0	0	0	0	2	0	1	1							4	8	1

チーム名	投 手	捕 手
岡 住 (大阪)	○馬場智久	市村 太
豊田自動織機 (愛知)	●村上大和	久角 淳

チーム名	本 塁 打	三 塁 打	二 塁 打
岡 住 (大阪)			西村仁志、小松稔明
豊田自動織機 (愛知)	竹口 稔	平見和紀	

(戦 評) 大接戦の末、地元岡住 初の決勝戦へ！！

1点リードされた岡住は6回、押し出し四球と小松のタイムリーで逆転。さらに同点に追いつかれタイブレーカーに入った8回表、小松の二塁打などで3点を挙げ、粘る豊田自動織機を突き放した。

豊田自動織機は5回、九番竹口の2ランで逆転。土壇場の7回裏にはまたしても竹口が三遊間にタイムリーを放ち同点。しかし、8回表の3点が重くのしかかり惜しくも涙をのんだ。

逆転に次ぐ逆転の大接戦の末、47回目を数える本大会において、大阪代表が初めて決勝にコマを進めた。



公式記録員 岸本 博
戦評記載者 藤田紀世

大会名

第47回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会

試合番号 31

試合日： 平成19年7月17日	第 3 日目	第 2 試合	決 勝	大阪府大阪市	舞洲運動広場 D
開始時間 12時11分	終了時間 14時02分	中断時間	:	試合時間	1時間51分
(球 審) 西崎伸弘	(一塁塁審) 長瀬義輝	(二塁塁審) 鴻野敏和	(三塁塁審) 南野広行	(副 審)	際川正則

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
日新製鋼 (広島)	0	0	0	0	0	0	0	0							0	3	0
岡 住 (大阪)	0	0	0	0	0	0	0	1x							1	6	0

チーム名	投 手	捕 手
日新製鋼 (広島)	●飯田邦彦	逢澤尚通
岡 住 (大阪)	○谷 淳二	市村 太

チーム名	本 塁 打	三 塁 打	二 塁 打
日新製鋼 (広島)			
岡 住 (大阪)		小松稔明	

(戦 評) 大阪、岡住 タイブレーカーを制し、初優勝！

息詰まる投手戦となった決勝戦。岡住は延長に入った8回裏、暴投と四球で無死一三塁とし、一番和田の気迫の一打が勝利を呼ぶサヨナラ安打。地元で初優勝を成し遂げた。

一方、日新製鋼は8回表、併殺でチャンスを生かせず連覇は逃したものの、連投となったエース飯田の好投が光った。

両チーム見事な戦いぶりに、会場には惜しめない拍手がわいた。



公式記録員 中川和美
戦評記載者 山口栄子